

はっする



福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

県内において腸管出血性大腸菌感染症の発生が続いており、過去最多（69名）となりました。予防策の周知を図るため、本日（9/16）腸管出血性大腸菌感染症対策担当者会議が開催されました。各施設において、今後も引き続き以下の内容について、注意喚起と予防策の徹底を再度お願いします。

腸管出血性大腸菌（O157等）に注意しましょう！

主な症状は・・・？

下痢、腹痛、血便、発熱など、
（無症状の場合もあります。）

子どもや高齢者の中には、重症化し死亡する例もあります。

感染源は・・・？



腸管出血性大腸菌は、食肉を生や加熱不足で食べて感染する事例が多くなっています。

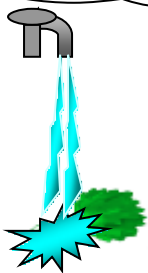
どれくらいで症状が出るの？

菌が口から体の中にはいると、
2～14日（平均3～5日）で症状が現れます。
他の病原菌と比べて、少量（数十個～約100個）
でも発症するといわれています。



感染症から身を守るのは、あなた自身です！

予防策は・・・？



- ・ 調理や食事の前には、十分に手を洗いましょう。
- ・ 調理器具は食品ごとにこまめに流水で洗い、熱湯をかけておきましょう。
- ・ 生野菜は流水でよく洗い、加熱する食品は十分に加熱（中心部を75℃で1分以上）しましょう。
- ・ 焼肉をする場合は、生肉専用の箸を用いるなど、必ず、箸の使い分けをしましょう。【重要】
- ・ 乳幼児、青少年、高齢者のほか、抵抗力の弱い方は、特に注意が必要です。



○問い合わせ先：県健康増進課、若狭健康福祉センター(Tel.0770-52-1300)

○ホームページ：<http://kansen.erc.pref.fukui.jp/>